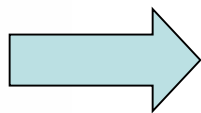




# コンパクトなまちづくり の必要性と概念

# コンパクトなまちづくりの必要性

- 環境対策、CO<sub>2</sub>排出削減対策
- 行政コスト(社会資本の維持修繕、除雪、ゴミ収集等の管理コスト)の軽減
- 少子・超高齢化への対応
- 公共交通利用者の確保(駅圏人口と密度)
- 中心市街地活性化による交流機会創出



コンパクトシティ政策は、地方都市が持続可能であるために必須の政策

H25.6.14 アベノミクスの成長戦略

「日本再興戦略～JAPAN is BACK～」にコンパクトシティを位置付け

# 富山市のまちづくりの基本方針 ～コンパクトなまちづくり～



鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現

## ＜概念図＞

富山市が目指すお団子と串の都市構造

**串** : 一定水準以上のサービスレベルの公共交通

**お団子** : 串で結ばれた徒歩圏

## ＜実現するための3本柱＞

①公共交通の活性化

②公共交通沿線地区への居住促進

③中心市街地の活性化



# 都心地区・公共交通沿線居住推進地区の設定と居住人口の目標

## 都心地区・公共交通沿線居住推進地区の設定

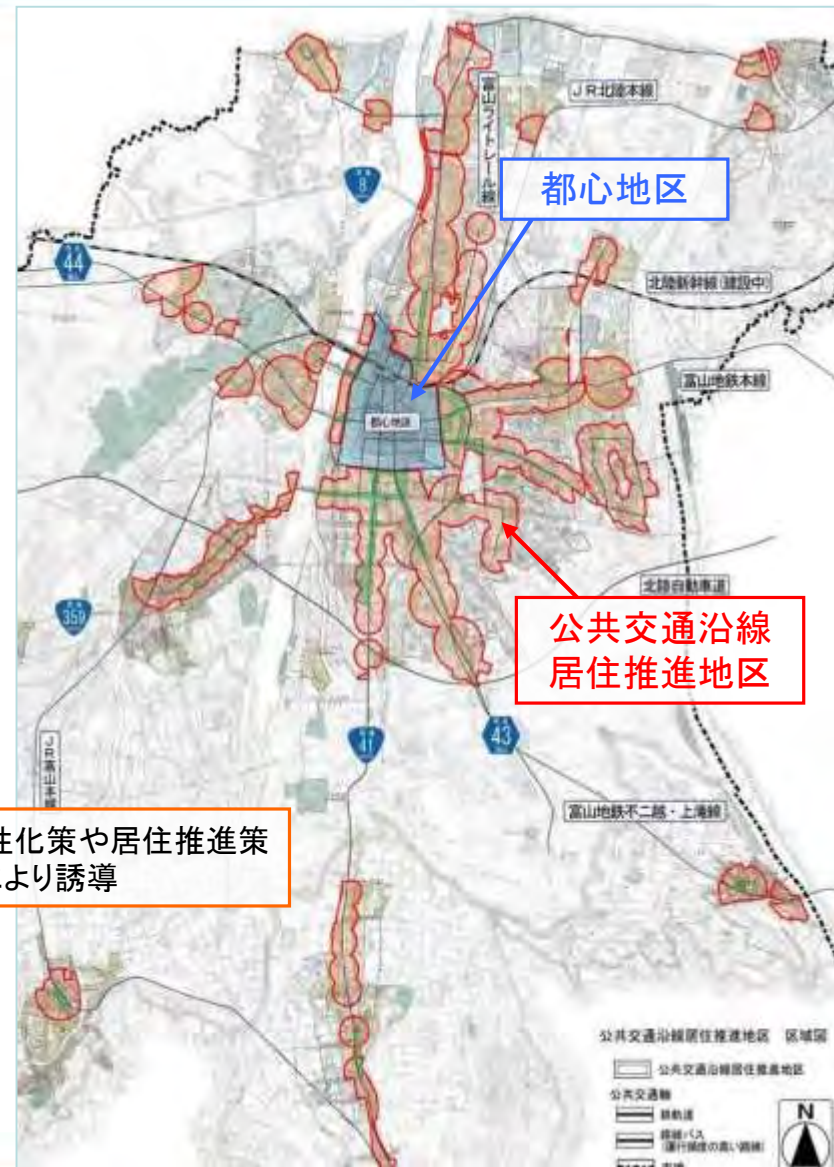
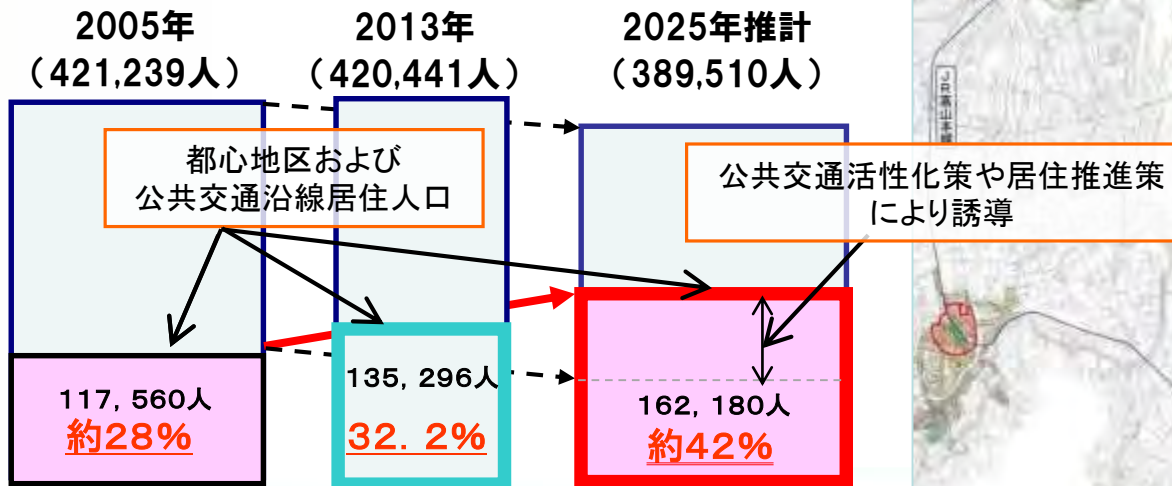
- 都心地区：約436 ha
- 公共交通沿線居住推進地区：約3,489ha

※富山駅を中心とした19の公共交通軸周辺

- 鉄道、軌道駅勢圏（半径500m）
- バス停圏（半径300m）

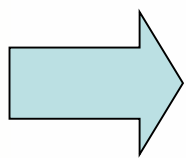
都心地区及び公共交通沿線居住推進ゾーンでは、良質な住宅の建設事業者や住宅建設や購入する市民に対して助成

## ＜公共交通沿線における居住人口の目標＞



包括的施策展開による行政運営により、  
簡単ではない政策目標を達成する

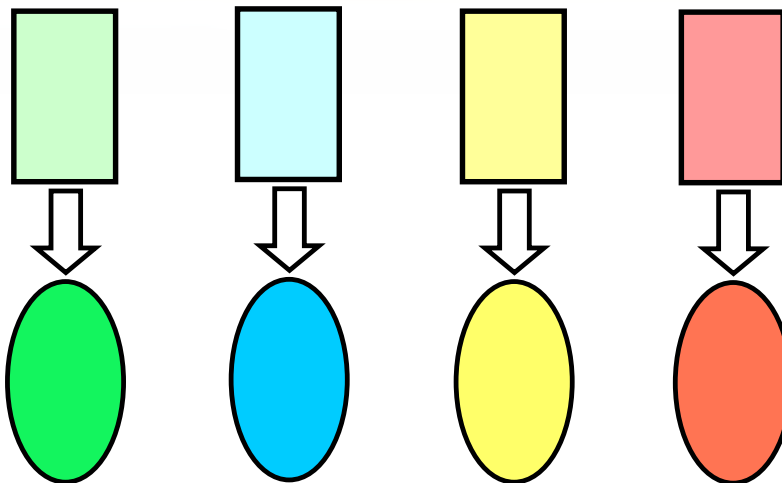
- 一つの政策目標を、複数の施策の実施によって達成する。
- また、一つの施策の実施によって、複数の政策目標に効果をもたらす。



様々な制約がある状況下で、負のスパイラルを  
正に転換するために有効な施策推進の手法

# 包括的施策展開

従来の  
行政運営

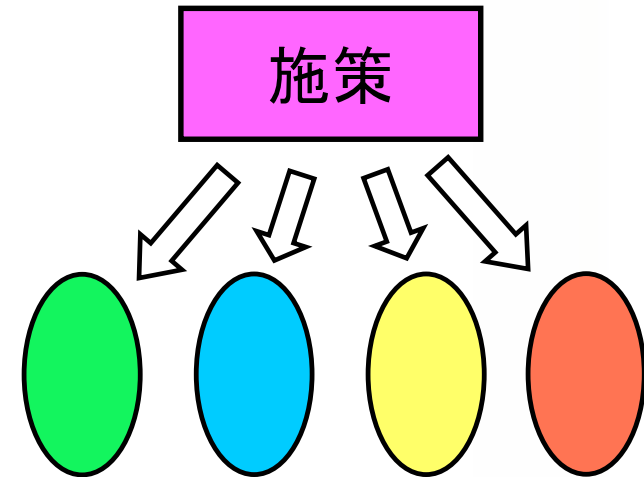
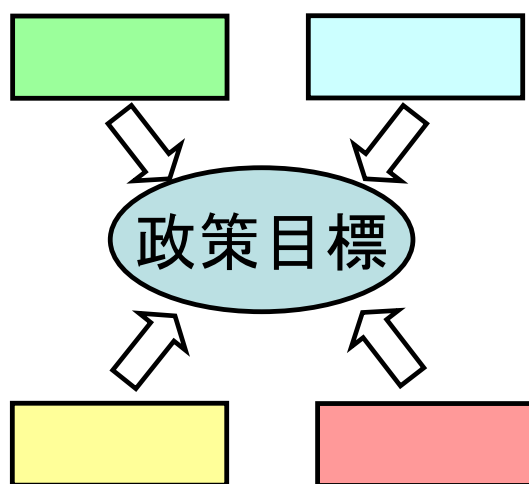


施策・手段

目的・目標



包括的施策展開  
による行政運営



# コンパクトシティを実現する包括的施策展開

